



目次

はじめに：本レポートの目的、本レポートの対象、2023年の車種リスト

要旨：概要、知覚品質、システムの実装品質、音声認識、インフォテインメント、ナビ、ADAS、利便性、コネクテッドサービス、結論

車種別概要：

- Jeep Grand Wagoneer
- Nissan Ariya
- BYD Seal
- Peugeot 408
- Fisker Ocean
- MG4 EV

関連レポート

UXベンチマーク評価シリーズ

レポート番号: 635

本レポートシリーズでは、インフォテインメント、ADAS、デジタルキー、VPAなどのHMIのUXや利便性を実車評価。

2022年評価車種

- Lucid Air
- Rivian R1T
- Renault Megane E-Tech
- Xpeng P5
- GMC Hummer EV
- Lexus NX

レポート番号：#635(23g)

UXベンチマーク評価 2023年評価車種の総括



UXベンチマーク
評価シリーズ

車両への採用技術が増加する中、搭載システムをユーザーがどのように評価しているかを理解しておくことが非常に重要です。車内UX（ユーザーエクスペリエンス）はブランドの差別化において重要な要素であるだけでなく、長期的な顧客ロイヤルティの確立にも影響を及ぼします。

2023年の評価シリーズでは、評価対象として2つのカテゴリーから6車種を選定しています。「最新・特徴的なUX」カテゴリーは、前例のない機能や特徴を備えたシステム、もしくはエンドユーザーが従来抱えていた問題を解決するソリューションを実装している車種。他方の「量産車の最新UX」カテゴリーでは、量産セグメントの中でも最新世代のUIを搭載している車種です。

2023年の調査対象車種：Jeep Grand Wagoneer、Nissan Ariya、BYD Seal、Peugeot 408、Fisker Ocean、MG4 EV

本書は上記対象6車種の評価結果を総括するものです。

対象市場

欧州	北米	中国
日本	グローバル	その他

レポート発行頻度

毎年更新	半年更新	四半期更新	毎月更新	年間6車種

レポート形態

PDF	PowerPoint	Excel	Online

ページ数

42

SBD UXベンチマーク評価シリーズ

本評価シリーズでは、以下の領域のスコア付けと分析を行っています

> 機能と特徴

ユーザーが期待している機能、必要としている機能、問題を解決する機能をソリューションが提供しているか（Wowファクターを提供しているか）評価する。

> ユーザビリティ

提供される機能を簡単に習得・使用できるか評価する。人間工学、視認性、ユーザビリティの特性の各領域とシステムにおける各種機能の実装状況を考察する。

> 信頼性／安定性

反復的なユーザビリティと、ユーザーが毎回同じような使用感（プラスのエクスペリエンス）を得られるかについて評価する。

> 知覚品質

HMIコンポーネントの品質がどのように知覚され、それが全体的なユーザーエクスペリエンスにどのように影響するかを評価する。

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

100+ Reports published per year
50k+ Slides of insights, forecasts & data
4,000+ # of auto professionals who access our reports

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。



ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



UXベンチマーク評価
年間総括

発行年月：2024年2月
レポート番号：635-23(23g)

本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「UXベンチマーク評価 - 2023年評価車種の総括」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

